



Level 6-7

2019年度
第2回



検定開始の合図があるまで問題を開いてはいけません。

まず、下記の注意をよく読んでください。

□ 検定上の注意 □

1. 検定時間は60分です。
2. 検定開始前に答案用紙に受検番号・氏名・生年月日を必ず記入してください。
3. 検定が始まって、印刷が見えにくかったり、ページがおかしかったりしたら、手をあげて監督者に知らせてください。
4. 問題のあいているところは自由に利用してください。
5. 問題は、答案用紙と一緒に回収します。

受検番号

氏名

《問題Ⅰ》 次の問いに答えなさい。

第一問 次の言葉の意味にあたる二字熟語を、後の漢字を使って作りなさい。ただし、それぞれの漢字は一回ずつしか使えません。

- (1) 他よりすぐれていること。
- (2) 正当に行うことができるものとして与^{あた}えられている能力の範圍^{はんい}。
- (3) 人の気に入るような口先だけのうまい言葉。
- (4) 実際にはない物事を、あるものとして考えてみること。

言 越 権 憂 仮 超 限 優 甘 威 想 詐

第二問 次の（ ）に当てはまる語を後の【読み方】から選んで四字熟語を作り、文を完成させなさい。ただし、答えは（ ）に入る二字の漢字のみ書くこと。

- (1) かれの発言はあまりにも（ ）無^む恥^ちだ。
- (2) 無病（ ）に感謝する。
- (3) 自分の考えを理路（ ）と述べる。

- (4) 先生の授業は単純（ ）でもおもしろい。

【読み方】

ソクサイ セイゼン メイカイ コウガン

第三問 次の文の（ ）に入る最も適切な熟語を〔 〕の中から選び、カタカナを漢字に直しなさい。

- (1) かれは自分の実力を（ ）している。 〔 カシン ジシン カンシン 〕
- (2) 大きな大会で実力を（ ）する。 〔 サツチ ハツキ サツキ 〕
- (3) 駅前で（ ）活動をする。 〔 シヨメイ カンメイ シメイ 〕
- (4) 先生が出欠の（ ）をとる。 〔 レンコ メンコ テンコ 〕

第四問

次の言葉を並べかえて一文を作りなさい。また——線部のカタカナは漢字に直しなさい。ただし、には主語、には述語、——の後は助詞が入ります。解答欄には例のように記入すること。

【例】通っている の は に ダイガク 姉 私 。

私 — の — 姉 — は — 大学 — に — 通っている 。

↓
(解答欄)

私の姉は大学に通っている。

(1) の は カンセンした 弟 に 私 インフルエンザ 。

— — — — 。

(2) 水 を 洗う きれいな キズグチ で 。

— — — 。

(3) で 折れた を キンゾク 固定する プレート 骨 の 。

— — — — 。

《問題Ⅱ》 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

父の教育からいえば、父の若い時代としては新しい教育を受けた方だが、その根底をなしているものはやはり朱子学派の儒学であって、その影響からは終生脱することができなかつた。(a)どこか独自なところがあつて、平生の話の中にも、その着想の独創的なのに、我々は手を拍って驚くことがよくあつた。晩年にはよく父は「自分が哲学を、自分の進むべき路として選んでおつたなら、きつと纏まつた仕事をしていたろう」と言つていた。健康は小さい時分にはたいへん弱い子で、これで育つだろうかと心配されたそうだが、私が知つてからは強壯で、身体こそ小さかつたが、精力の強い、仕事のよく続けてできる体格であつた。①仕事に表わす精力は、我々子供たちを驚かすことがしばしばあつたくらいである。芸術に対しては特に没頭したものがなかつたので、鑑識力も発達してはいなかつたが、見当違いの批評などをする時でも、父その人でなければ言われないような表現や言葉使いをした。父は私たちが芸術に携わること②は極端に嫌つて、ことに軽文学は極端に排斥した。私たちは父の目を掠めてそれを味わわなければならなかつたのを記憶する。

父の生い立ちは非常に不幸であつた。③父の父、(b)私たちの祖父に当たる人は、薩摩の中の小藩の士で、島津家から見れば陪臣であつたが、その小藩に起こつたお家騒動に巻き込まれて、琉球のあるところへ遠島された。それが父の七歳の時ぐらいで、それから十五か十六ぐらまでは祖父の薫育に人となつた。(c)小さい時から孤独で(父はその上一人子であつた)ひとり立っていかなければならなかつたのと、父その人があまり正直であるため、しばしば人の欺くところとなつた苦い経験があるので、人に欺かれないために、人に対して寛容でない偏狭な所があつ

た。これは境遇と性質とから来ていたので、晩年にはおいおい練れて、広い襟懷せきんかいを示すようになった。ことにおもしろがったり喜んだりする時には、私たちが「父の笑い」と言っている、非常に無邪気むじやきな善良な笑い方をした。性質の純な所が、外面的の修養などが剥はがれて現われたものである。

ありしまたけお
有島武郎『私の父と母』（表現の一部を改めた）

*薰育…徳をもって教え導くこと。しつけ。

*襟懷…胸のうち。

第一問 — 線部①、③の主語を五字以内でそれぞれ抜き出しなさい。

第二問 (a) (b) (c) に入る言葉をア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア したがって イ しかし ウ すなわち エ または オ なぜなら

第三問 — 線部②「それ」の指す内容を五字以内で答えなさい。

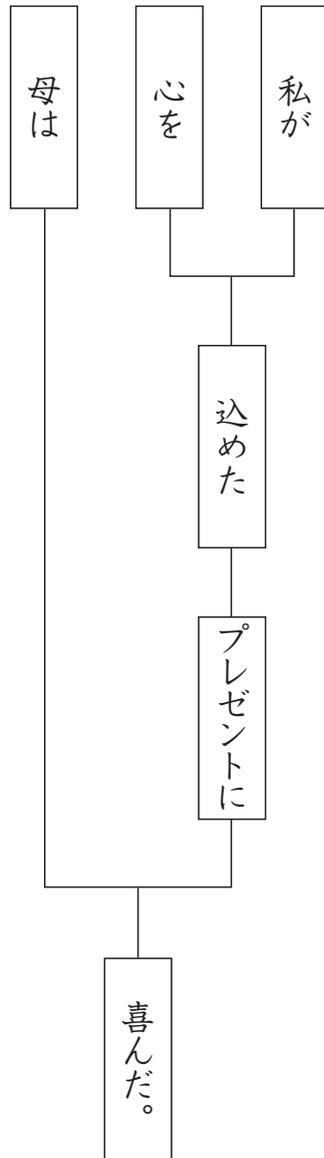
第四問 — 線部④「晩年にはおおいおい練れて、広い襟懷きんかいを示すようになった」とありますが、その理由を、三十五字

以内（句読点を含む）で答えなさい。

第五問 次の文は、後の構造図のどれに当たるか、例にならって、最もふわしい図を、次のア～オの中から、それぞれ

一つずつ選びなさい。

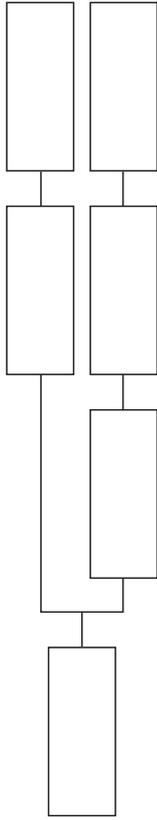
【例】 私が 心を 込めた プレゼントに 母は 喜んだ。



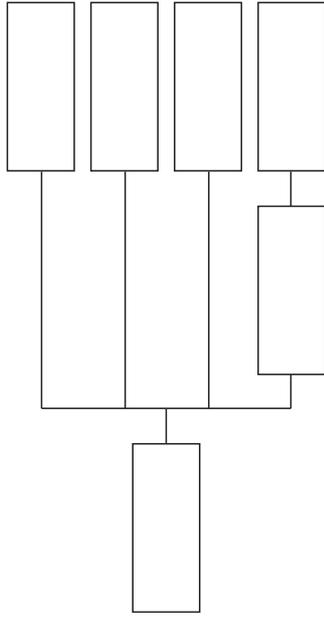
(1) マラソンの 国際大会で 日本人の 選手が 優勝を 果たした。

(2) 近くの 川の 水が 今にも 堤防ていぼうを こえそうだ。

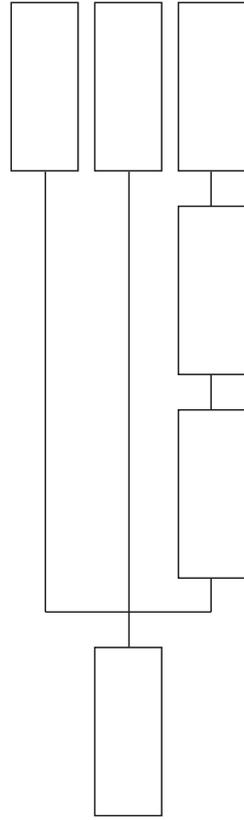
エ



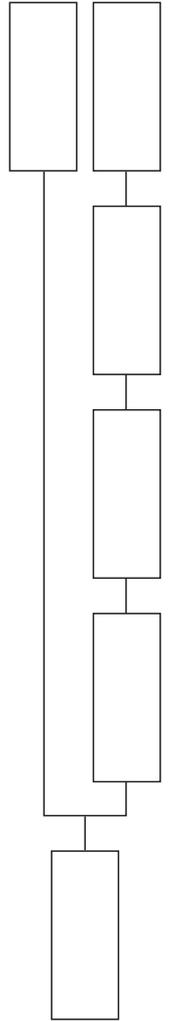
ウ



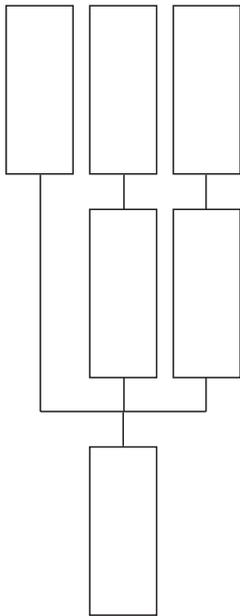
イ



ア



オ



《問題Ⅲ》 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

いまから37年前のアンケートである。テレビ電話やファクシミリの発達で近い将来、在宅勤務が広がるとみられるが、あなたは望みますか？ 週休2日が確保されるのであれば望まない――。(1) 「仕事を家庭に持ち込みたくない」という気持ちの表れだと、当時の新聞にある。通勤地獄を甘受しても、線引きをしたいようだ。一方で、週の半分程度の在宅勤務を希望するという答えも31%あり、期待感もにじていた。時代が進んで、インターネット、パソコン、スマホが現れたが、在宅勤務が劇的に広がったとは言えない。職場以外で仕事をする意味のテレワークに名前が変わり、育児や介護などの両立にも役立つと、旗が振られる。いまは1年前の予行演習の時期で、取材先に電話すると「きょうはテレワークで不在です」と言われることもある。五輪の本番ではさらに広がるかもしれない。(2) ミニニューヨークで働く人にスニーカーが多いのは、1980年の地下鉄とバスの長期ストがきっかけになったようだ、と以前書いた。(3) 五輪だって突破口になる可能性はある。働き方も家庭のあり方も、どんどん変わっている。「子どもにおかえりを言うために、きょうはテレワークにします」。(4)

朝日新聞「天声人語」2019年7月31日

第一問 次の一文を元の位置に戻し、直後の五字を抜き出しなさい。

首都圏では東京五輪の混雑緩和という役割も担う。

第二問 (1) ～ (4) に入る言葉を、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 長い距離を歩くのを強いられ、疲れにくい靴に履き替えた。

イ そんなふうに父たち母たちが、気軽に言えるようになれば。

ウ そんな答えが40%で最も多かった。

エ 問題は、その後も持続するかどうかだ。

第三問 問題文を二つに分けるとすると、後半はどこからか。後半のはじめの五字(句読点をふくむ)を抜き出しなさい。

第四問 この文章の内容として、最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 筆者は37年前のアンケート結果を持ち出して、在宅勤務が広がることは昔から非常に多くの人に期待されていたことだとしている。

イ 筆者はニューヨークで長期ストをきっかけにスニーカーで働く人が増えたように、東京五輪をきっかけにテレワークが広がることを期待している。

ウ 筆者は在宅勤務は広がらなかったが、職場以外で仕事をするテレワークが広がったことを喜んでいる。

エ 筆者は相手がテレワークで不在であった実体験を述べ、テレワークによって仕事に支障が出ることを心配している。

《問題Ⅳ》 次の問いに答えなさい。

第一問 次の三つの文を合わせて、一文を作りなさい。

(1) ぼくは電車の写真をとった。

ぼくは駅のホームから写真をとった。

ぼくはホームに入ってくる電車の写真をとった。

(2) 兄は早朝からテニスの練習をしている。

兄は大会に向けて練習をしている。

兄は大会の優勝を目標にしている。

第二問 次の語句を並べかえて一文を作りなさい。ただし、それぞれの文には、不要な語句が二つずつあります。

(1) タヌキを かえす 人工の 保護した 自然に 危険だ 野生の 。

(2) 地球上で 動物だ 大きな 泳ぎ シロナガスクジラは 最も 最大の 。

第三問 ①が要点となるように、①と②を合わせて一文を作りなさい。

① 毎朝、お母さんは私と妹のためにお弁当を作ってくれる。

② お弁当の栄養バランスがよく考えられている。

第四問 次の文章の要点を五十五字以内（句読点をふくむ）で書きなさい。

初対面の相手に出会ったとき、最初の数秒で抱く印象のことを「第一印象」と言います。これは仕事でも、恋愛でも、人間関係を作る上でとても重要な要素だとされています。

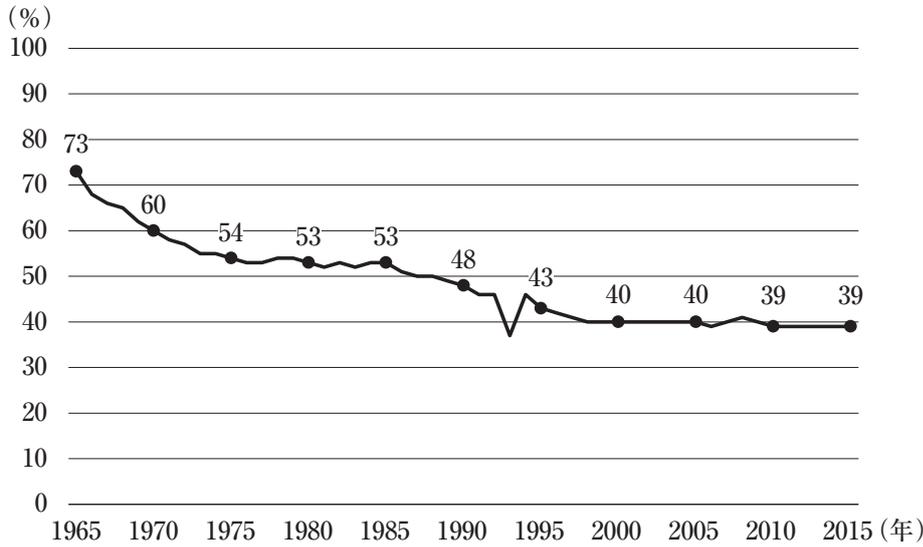
なぜなら、これまでの研究によって「初頭効果」というものが発見されており、最初に与えられた情報が、後の相手に対する評価に影響を与えるということがわかっているからです。たとえば、相手の抱いた第一印象が悪いと、その印象はなかなか払拭されることがなく、良い人間関係を築くことが難しくなります。逆に、第一印象がとても良いと、自分のしたことを好意的に受け止めてもらいやすく、良い関係を築きやすくなるのです。

このように第一印象は人間関係を作るときに大きな影響を持っています。そのため、相手と良い関係を築きたいなら、初対面のときに良い印象を持つてもらえるようにすることが大切です。たとえば、身だしなみ、明るい表情、声の大きさなどに気をつけるだけでも効果があります。

《問題V》

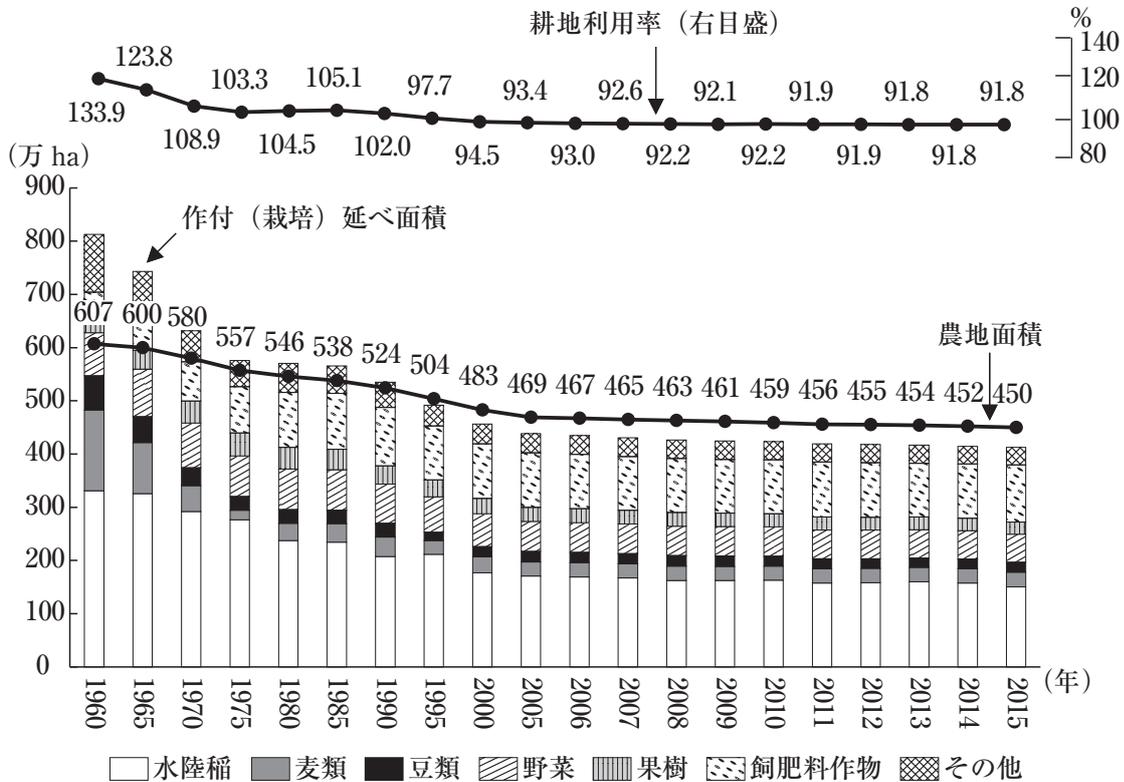
次の資料を見て、後の問いに答えなさい。

【資料1】 カロリーベース食料自給率



(資料) 農林水産省 食料需給表

【資料2】 農地面積等の推移



(資料) 農林水産省 耕地及び作付面積統計

第一問 次の文章の（①）～（④）に入る適切な言葉や数値を答えなさい。

1965年には（①）%あった日本の食料自給率は、2015年には（②）%まで低下している。それにともない日本の（③）も600万haから450万haまで減少しているが、（④）年代に入ってからはどちらもほぼ横ばいの状態が続いている。

第二問

(1) 日本の食料自給率を上げるためにできることとして、**【資料2】**から考えられる方法を二十字以内（句読点をふくむ）で述べなさい。

(2) 農地の作付延べ面積がいちばん大きいのは水陸稲ですが、1960年と2015年を比べると約半分の大きさになっています。その理由として考えられることを六十字以内（句読点をふくむ）で記述しなさい。ただし、記述にあたっては、次の言葉をすべて使用すること。（使用する順番や回数は問わない。）

【使用する言葉】

消費量

欧米化 おっぺい

主食

米

